

ハッピーウーマンサークル（金城学院大学）

活 動 実 績 調 書

(1) 活動名	生活経済リテラシー向上委員会 2022
(2) 活動の目的・成果（※何を指し、何が成果として得られたかについて記載）	<p>本活動は、学生主体の金融講座の提供により、瀬戸市民の生活経済リテラシーを向上させることを目的とした。また、学びを実生活で生かせるような身近さを大切にすることを目指した。</p> <p>活動成果は大きく分けて3つある。第1に、参加者となる瀬戸市民が疑問に思うことを、学生と一緒に学んでいくことができた点である。質疑応答の時間を設け、学生が机間巡視をすることで、質問しやすい環境を作ることができた。第2に、講座を担当する学生自身が深い学びを得ることができた。大学では、講義の内容をインプットする機会が多い中、市民にアウトプットすることで、疑問をなくすための自発的な学びができた。第3に、講座を継続的に開催することにより、瀬戸市民が金融の知識に触れる機会が多くなることや、広告などで目にする機会も増加し、より多くの人に金融の知識に興味を喚起させることができた。参加者が増加し、金融に関する知識をつけてもらうことにより知識不足からくる金融トラブルに巻き込まれるリスクが減少する。</p>
(3) 活動の実施内容（※活動の実施方法、時期、場所、回数、市民等への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載）	<p>【活動の実施方法・活動時期】</p> <p>■ ニーズ調査を行う 2022年8月下旬-10月中旬 Googleフォームを用いてどういった生活経済リテラシーに関心があるのかを調査した。Googleフォームの内容に関して、年齢・性別また今後人生について不安なライフイベントはどれですか。という質問にお答えいただいた。 任意で今後講座の実施に関する詳細の連絡を希望される方にはメールアドレスの記入をお願いしていること・都合の良い日時についても解答していただいた。</p> <p>■ 講座内容の決定 2022年10月28日 ニーズ調査の結果から講座内容を決定。どういった講座に多くの関心が集まっているのか学生同士で確認を行い、昨年度の講座と比較しつつ講座内容を決定した。</p> <p>■ 教科書・スライドづくり 2022年11月-2月 どのように講座を進めていくのか、授業内の概要を考えること。テキストの文章を検討し、授業で学んだことをアウトプットし制作、顧問も確認を行った。</p> <p>■ 講座の申し込み開始 2023年1月12日 Googleフォームにて講座ごとで申し込みしていただいた。25人をコロナ感染症対策で定員としてGoogleフォームをプログラムした。</p> <p>■ 生活経済リテラシー向上委員会 第1回リハーサル 2022年12月17日 本番を行うパーティセと 4F 大会議室にてリハーサルを行った。実際の時間を想定し講座を行った。学生・顧問で講座の内容に対して意見交換を行った。具体的な指導としては、スライドの内容を修正、教科書の内容の訂正である。</p> <p>■ 生活経済リテラシー向上委員会 第2回リハーサル 2023年1月下旬-2月上旬 金城学院大学にて学生・顧問に加えて今回講座の運営には携わらないが昨年度の経済リテラシー向上委員会に参加した先輩方にも参加して頂いた。言葉遣い、話すスピードやページの指示しながら説明を行った方が良いなど講座をより良いものにするための最終調整を行った。</p> <p>■ 生活経済リテラシー向上委員会 本番 2023年2月19日 パルティセとにて行った。プロジェクター・制作した教科書を配布し講座を行った。①年金・退職金とはいったい何なのか!～自分がいくら貰えるか一緒に考えてみませんか?～②楽しく学ぼう!保険!③iDeCo・NISAについて知ろう④一緒にやってみよう!ふるさと納税!⑤金融について知ろう!以上合計5</p>

つの講座を行った。①②③④は45分間・⑤は60分間の講座を行った。参加人数は79人。昨年度は40人であったためと比較すると人数は約二倍になった。講座後アンケート用紙をお配りし、私たちのフィードバックとして講座に対する満足度・講座に対する質問・意見という3つの項目を用紙に記入して頂いた。講座に対する質問の解答に関して、希望される方にメールアドレスを記入していただき、後日、メールアドレスにて解答。金城学院大学ハッピーウーマンサークルのホームページ内でも質問に対する解答を行った。また講座を受講したことにより考えるきっかけを得ることができた、時間の関係で一つの講座しか受講できなかったが他の金融講座も受講したくなった。という意見をいただいたことから学生主体の金融講座の提供により、瀬戸市民の生活経済リテラシーを向上させることができたのではないかと推測する。

【場所・回数・参加人員】

- パルティセと 4F 大会議室
- 2023年2月19日(日)の1回
- 金城学院大学生生活環境学部生活マネジメント学科の学生8名

【市民等への周知方法】

- チラシ掲示

2023年1月中旬-2月上旬 瀬戸市まちづくり協働課の皆様との協力のもと公民館・交流センター・金城学院大学内・瀬戸市役所・瀬戸市図書館・瀬戸市商工会議所・瀬戸線大曾根駅など・ワクワクバルーン・アッチコッカにてチラシを配布・掲示を依頼。ニーズ調査を行った際に興味を持ってくださった方々に講座開催のお知らせを行った。

- 金城学院大学ハッピーウーマンサークル SNS

公式インスタグラム・HPにて告知を行う

- ラジオでの告知

2023年1月31日 FM84.5 ラジオサンキュー「サンキューアフタヌーン」番組内で告知をパーソナリティーの方に行っていた。

- ポトス(広報誌)・なびぼ(web)・広報せと2月号

名古屋市東部に配布される地域密着のフリーペーパーであるポトス、瀬戸市が毎月発行している広報せとにも告知を掲載した。

昨年度のSNSやチラシだけではなく瀬戸市の皆様に直接告知をすることが必要であるという反省を得て、ラジオやポトスなどの広報を行った。これにより、より多くの市民の方に伝わり、昨年度の約2倍の参加者を得ることができた。

(4) 活動実施上の工夫 (※活動の趣旨・目的達成のため、特に創意工夫した点について記載)

- ・瀬戸市民をはじめとした一般市民向けに金融に関する意識の事前調査を行い、年代、性別による興味関心ある分野を調べることで、瀬戸市の方々に向けた講座を作成することができた。
- ・講義で活用する「生活経済リテラシー啓発冊子」を書き込みしやすいサイズに工夫した。
- ・ポトス、なびぼ、広報せと、ラジオに対して告知依頼したことにより、瀬戸市の皆様に対してダイレクトに呼びかけをすることができた。
- ・受講者参加型の講座になるよう努めた。学生が伝えるだけの一方通行的な講座ではなく、瀬戸市民の方々も一緒に楽しみ、思い出に残る講座になるように心掛けた。

(5) 活動実施上の反省点 (※具体的な反省点等について記載)

【反省点】

- ・新NISAの制度改革があり、講座実施の時期が当初より遅くなってしまった。
- ・講座ごとに参加して下さる人数にばらつきが目立った。

【次年度に向けての課題】

- ・チラシを本番の一か月前から配り、告知場所を増やす。
- ・早期から計画的に行動し、本番直前にばたつかないようにする。